

海外水道協力など官民3講演

技術士会
中国本部 下水管路の効率的な管理も紹介



若岡部会長

日本技術士会中国本部
上下水道部会(部会長) 若岡信利・テクノコンサルタント技師長)はこのほど、2025年度講演会を広島市内などの会場とオンラインで開催した。全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部との共催で、講演会では官民から3題の講演が行われ、会員ら合計約120人が聴講した。

講演会の冒頭、若岡部会長が「いずれも非常に興味深い内容で、貴重な知見を得られる機会に」とあいさつ。続いて、矢山将志・北九州市上下水道局広域・海外事業部海外事業課長が「地方自治体の人材・技術を活かした水道協力」と題して講演した。

矢山課長は「北九州市上下水道事業基本計画2030」を踏まえ、同市



渡部課長補佐



田中部長



矢山課長

が海外事業を推進する3つの視点として、職員の人材育成や国際貢献、企業の産業振興を挙げ、さらにカンボジアとベトナムにおける上下水道分野の国際協力などを紹介。日本水大賞や総務大臣賞などを受賞しており、海外経験職員は水道接続時の人々が喜ぶ顔を忘れず、国内での仕事の向き合い方が変わる」と強調した。

田中志明・NTTビジ

ネスソリューションズパ
リユーデザイン部ソー
シャルイノベーション部
門社会基盤ビジネス担当
部長の講演「加速するD
Xへ変化する社会インフ
ラの在り方」今、求め
られる、上下水道事業に
おける変革」では、工業
用水道事業の運営(コン
セクション)や、場外系
システムの更新維持(B
M方式)などの官民連携
を提供していると説明。
管路DXでは衛星画像を
使った広域漏水検知、ド
ローンを活用した点検計
画の策定などにも取り組
んでおり、仮想空間で現
場を再現して設計効率化
などを図るXR(クロス・
リアリティ)技術につい
て日常巡視点検などへの

応用可能性を指摘。「ア
ナログとデジタルを融合
させることがDXにつな
がる」とまとめた。
渡部九人・広島市下水
道局施設部計画調整課課
長補佐は「下水管路の
効率的な維持管理に向け
て」と題して講演。中区
一丁の公共下水道管路施
設(本管・取付管・道路
雨水樹・マンホールな
ど)の包括的民間委託を
2024～25年度の2年
間導入していることなど
を説明し、導入効果とし
て、職員の現場対応回数
や指示書作成業務などの
削減を挙げ、「次期包括
的民間委託はウォーター
PPPの動向などを踏ま
え、検討したい」と今後
の方針を述べた。